

安城市の子ども・子育てに関するアンケート調査(案)

【調査ご協力のお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、安城市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、平成26年度に「安城市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：平成27年度～平成31年度）を策定します。

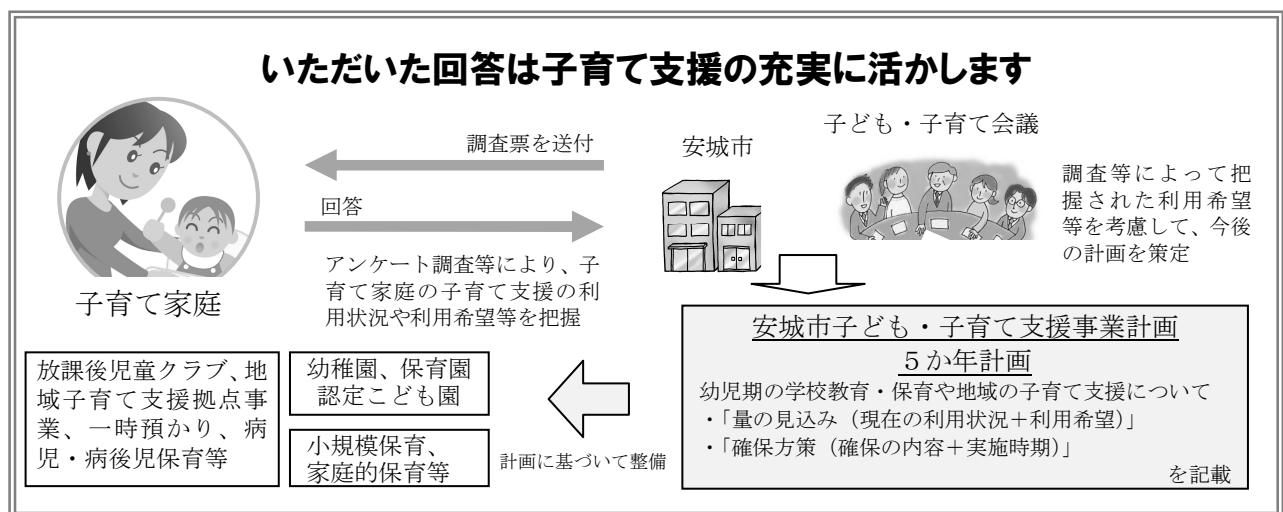
このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見などを把握し、計画に反映するため、「安城市の子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施します。

この調査は、安城市にお住まいの、就学前のお子さんをお持ちの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年 11月

安城市長 神谷 学



記入にあたって

- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- アンケートには、あて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて11月15日（金）までにポストに投函してくださるようお願いいたします。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

安城市 子育て健康部 子育て支援課

電話：0566-71-2227

FAX：0566-74-6789

回答するに当たってお読みください

安城市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

【用語の定義】 この調査票における用語の定義は、以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育園	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
認定こども園	幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

1. お住まいの地域についてうかがいます

◎問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 安城南中学校区 | 2. 安城北中学校区 | 3. 明祥中学校区 |
| 4. 安城西中学校区 | 5. 桜井中学校区 | 6. 東山中学校区 |
| 7. 安祥中学校区 | 8. 篠目中学校区 | |
9. わからない ⇒ 町字名：_____ (例) 安城町赤塚

2. 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます

◎問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成 年 月 生まれ (例) 平成 年 月 生まれ

●問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

きょうだい数 人

◎問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

◎問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

◎問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

●問7	あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。あて名のお子さんからみた関係で当てはまる番号 <u>すべてに○</u> をつけてください。
-----	--

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母
5. 幼稚園 6. 保育園 7. 認定こども園 8. その他（ ）

●問8	あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境 <u>すべてに○</u> をつけてください。
-----	--

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育園
5. 認定こども園 6. その他（ ）

●問9	日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。 当てはまる番号 <u>すべてに○</u> をつけてください。
-----	---

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問10へ
- } ⇒問9-1へ
} ⇒問9-2へ

●問9-1	問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。 祖父母等の親族にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。 当てはまる番号 <u>すべてに○</u> をつけてください。
-------	--

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）
⇒問10へ

4. あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

●問12 (1)	母親 【父子家庭の場合は記入は不要です ⇒問12(2)へ】 当てはまる番号 <u>1</u> つに○をつけてください。
-------------	--

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問12
⇒(1)-1へ

問12
⇒(2)へ

●問12 (1)-1	問12(1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)
---------------	--

1週当たり 日 1日当たり 時間

●問12 (1)-2	問12(1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)18時00分のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)
---------------	--

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

(例)

家を出る時刻 0 8 時 0 0 分 帰宅時刻 1 8 時 4 5 分

●問12 (2)	父親 【母子家庭の場合は記入は不要です ⇒問13へ】 当てはまる番号 <u>1</u> につに○をつけてください。
-------------	--

- | | |
|--|---|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | 問12
⇒(2)-1へ

⇒問13へ |
|--|---|

●問12 (2)-1	問12(2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)
---------------	---

1週当たり 日 1日当たり 時間

●問12 (2)-2	問12(2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)18時00分のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)
---------------	---

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

◎問13	問12(1)または問12(2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 <u>1</u> につに○をつけてください。
------	---

母親	父親	フルタイムへの転換希望はありますか(当てはまる番号F)
1	1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

◎問14	問12（１）または問12（２）で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。
-------------	--

（１）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態

ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 →1週当たり 日／1日当たり 時間

（２）父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態

ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 →1週当たり 日／1日当たり 時間

5. あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
 具体的には、幼稚園や保育園など、問15-1に示した事業が含まれます。

◎問15	あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 <u>1つに○</u> をつけてください。
-------------	--

1. 利用している ⇒問15-1へ
2. 利用していない ⇒問15-5へ

●問15-1	問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号 <u>すべてに○</u> をつけてください。
--------	---

1. 公立幼稚園
2. 私立幼稚園
3. 私立幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
4. 公立保育園
5. 私立保育園
6. 私立認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
7. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
8. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
9. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
10. その他の保育施設 (認可外の保育園)
11. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
12. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
13. その他 ()

●問15-2	現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。 「1. 」～「3. 」のうち当てはまる番号 <u>すべてに○</u> をつけてください。
--------	--

1. お住まいの中学校区内
2. 1. 以外の安城市内
3. 他の市町村 市町村名：

●問15-3	平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、 <u>どのくらい利用</u> していますか。また、希望としては <u>どのくらい利用</u> したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。時間は、必ず(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。
--------	--

(1) 現在

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

(2) 希望

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

●問15-4	平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。 理由として当てはまる番号 <u>すべてに○</u> をつけてください。
--------	---

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他 ()

⇒問16へ

●問15- 5	問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。 利用していない理由は何ですか。当てはまる番号 <u>すべてに○をつけてください。</u>
------------	---

1. 子どもがまだ小さいため（ _____ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
2. 利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）
3. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
4. 近所の人や父母の友人・知人がみている
5. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
6. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
7. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
8. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
9. その他（ _____ ）

◎問16	すべての方にうかがいます。 <u>現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。</u> <u>なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。</u> （安城市における料金設定の目安は11ページの表をご覧ください）
------	---

1. 公立幼稚園
2. 公立幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 私立幼稚園
4. 私立幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
5. 公立保育園
6. 私立保育園
7. 公立認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
8. 私立認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
9. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
10. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
11. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
12. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
13. その他の保育施設 (認可外の保育園)
14. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
15. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
16. その他（ _____ ）

●問16- 1	教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。 「1. 」～「3. 」のうち当てはまる番号 <u>すべてに○をつけてください。</u>
------------	---

1. お住まいの中学校区内
2. 1. 以外の安城市内
3. 他の市町村 市町村名： _____

○問16-
2

問16で「1.」～「8.」に○をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんの入園にあたって、どのような視点で幼稚園・保育園を選びますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自宅に近いこと
2. 職場に近いこと
3. 送迎バスなど登降園の利便性が良いこと
4. 公立であること
5. 私立であること
6. 教育・保育の方針や理念が良いこと
7. 施設など教育・保育環境 が整っていること
8. 園開放などに参加した結果が好印象であること
9. 延長保育、休日保育があること
10. その他 ()

◇問16 表◇

安城市における教育・保育事業に係る料金(参考)

・「1. 公立幼稚園」…授業料は年間106,800円(月額8,900円)です。ただし、世帯における市民税の課税額等により年額18,000円から106,800円を免除する場合があります。

・「3. 私立幼稚園」…授業料は各園ごとに異なります。ただし、世帯における市民税の課税額等により年額14,400円から308,000円を「私立幼稚園就園奨励費補助金」として安城市が園を通じて授業料を補助する制度があります。

・「5. ～ 8. 保育園・認定こども園」…保育料は公立と私立は同じです。保育料は月額で、最高額はそれぞれの年齢区分に応じて0～2歳児で48,000円、3歳児で24,400円、4～5歳児で20,900円となりますが、世帯における市民税の課税額等により算定されます。

※幼稚園・保育園等に通う3人目以降のお子様については、授業料や保育料が無料となる制度があります。(保育園については2人目のお子様について保育料が半額になる制度もあります。)

・「15. ファミリー・サポート・センター」…利用料金は月～金の7時～19時は1時間当たり600円です。その他の曜日及び時間は1時間当たり700円です。

※「2.」、「9.」、「10.」、「12.」、「14.」は未実施です。「3.」(授業料等)、「4.」、「11.」、「13.」は各園またはホームページ等でご確認ください。

6. あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

◎問17	あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）を利用していますか。 次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に 数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。
------	---

- 地域子育て支援拠点事業（あんぱーく、児童センター、子育て支援センター、つどいの広場）
 1 週当たり 回 もしくは 1 か月当たり 回程度
- その他安城市で実施している類似の事業（赤ちゃん広場、乳幼児学級、幼稚園・保育園の園解放）
 1 週当たり 回 もしくは 1 か月当たり 回程度
- 利用していない

◎問18	問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。 当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。
------	--

- 利用していないが、今後利用したい
 1 週当たり 回 もしくは 1 か月当たり 回程度
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1 週当たり 更に 回 もしくは 1 か月当たり 更に 回程度
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

◇問19 表◇ 安城市における子育て支援事業(参考)

- ・「⑤あんぱーく」…子育て支援の充実を図るために子育て支援センター、つどいの広場、ファミリー・サポート・センターを 1 か所に集約し、図書館機能も持たせ安城市大東町に開設された施設です。
- ・「⑥つどいの広場」…あんぱーく「ほっとスペース」、北部福祉センター「北部ほっとスペース」、昭林公民館「ほのぼの広場」として乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場所を提供しています。
- ・「⑦子育て支援センター」…あんぱーく・二本木保育園・あけぼの保育園・さくら保育園・根崎保育園の中にあり、子育て相談や乳幼児の親子が遊ぶことができます。
- ・「⑧児童センター」…北部公民館・作野公民館・桜井公民館・二本木公民館・中部公民館・総合福祉センター、西部福祉センター、安祥福祉センター内にあり、18 歳までの子どもが自由に遊べるすることができます。
- ・「⑨ファミリー・サポート・センター」…安城市ファミリー・サポート・センターに登録している「子育て支援を手助けしてほしい人（依頼会員）」と「子育ての協力をしていただける人（提供会員）」が会員となって、お互いに助け合う会員組織です。

●問19	下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。 (⑤～⑨については12ページの表をご覧ください)
------	--

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①保健センター（妊娠中から乳幼児期の相談・教室）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②療育センター（発達相談、療育訓練）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③公民館講座（家庭教育・乳幼児学級）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③教育センター（教育相談）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④保育園や幼稚園の園庭などの開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤あんぱーく	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥つどいの広場	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦子育て支援センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧児童センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨ファミリー・サポート・センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩子育て情報紙「ささえねっと」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪児童遊園・ちびっこ広場	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

7. あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

◎問20	あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。 ※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。
------	--

（1）土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- □ 時～ □ □ 時

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- □ 時～ □ □ 時

●問20-1	問20（1）または問20（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
--------	---

1. 仕事が入ることがあるため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

◎問21	「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
------	---

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- 時～ 時

●問21-1	問21で、「3. 」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
--------	---

1. 仕事が入ることがあるため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

8. あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます （平日の教育・保育を利用する方のみ）

◎問22	平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問23にお進みください。 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。「あった」「なかった」のいずれかに○をつけてください。
------	--

1. あった ⇒問22-1へ
2. なかった ⇒問23へ

●問22-1	あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号<u>すべてに○</u>をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）
--------	---

1年間の対処方法		日数	
ア. 父親が休んだ			日
イ. 母親が休んだ			日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった			日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた			日
オ. 病児・病後児の保育を利用した			日
カ. ベビーシッターを利用した			日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した			日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			日
ケ. その他 ()			日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

→ 問22-5へ

●問22-2	問22-1で「ア.」または「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 <u>1</u> つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。
--------	---

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒問22-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒問22-5へ

●問22-3	問22-1で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「ケ. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。 休めなかった理由について当てはまる番号<u>すべてに○</u>をつけてください。
--------	---

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他 ()

●問22-4	問22-1で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「ケ. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。 その際、「ウ.」～「ケ.」の日数のうち、できれば仕事を休んで見たかった日数について、数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。
--------	--

できれば仕事を休んで見たかった日数 ⇒ 日 ⇒問23へ

●問25-1	問25で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 <u>1</u> つに○をつけてください。
--------	---

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

10. あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

◎問26	あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号 <u>すべてに○</u> をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。
------	--

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4. 児童センター	週		日くらい
5. 放課後子ども教室※ ¹	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）※ ²	週		日くらい
	⇒ 下校時から		時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
8. その他（公園など）	週		日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。現在、安城市では、モデル校として梨の里小・桜井小・今池小で無料（別途、教材費等がかかります）で、概ね週1回程度実施しています。実施している場合、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、下記の利用料等がかかります。

	(月額/人)	
	公立児童クラブ	民間児童クラブ
利用料	5,200円（8月のみ8,600円）	5,200円～12,500円 （8月のみ5,500円～13,000円）
おやつ代等	1,000円	1,000円～3,500円

◎問27	あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。 ※将来的なことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。
------	--

1. 自宅	週		日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4. 児童センター	週		日くらい
5. 放課後子ども教室	週		日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週		日くらい
	⇒ 下校時から		時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
8. その他（公園など）	週		日くらい

●問28	問26または問27で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また 利用したい時間帯を、□内に（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。
------	--

（1）土曜日

1. 利用する必要はない
2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- □ 時～ □ □ 時

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- □ 時～ □ □ 時

●問29	あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。
------	--

1. 利用する必要はない
2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
- □ 時～ □ □ 時

